



舌下免疫療法	1ページ
Healthy Campを開催しました／三重病院のサラメシ③	2ページ
にじいろガーデン／「やまばとギャラリー」情報コーナー／5病棟の生活のひとコマ⑩／ふれあい祭り開催	3ページ
アレルギー教室のクッキング／外来からのお知らせ／外来診察のご案内	4ページ

舌下免疫療法

国民の4人に一人がスギ花粉症の時代です。毎年2月、3月、4月がゆううつな季節になっている人が多いのではないのでしょうか。

また、ダニなどが原因で一年中くしゃみ、鼻水、鼻づまりなどのアレルギー性鼻炎症状が続く通年性アレルギー性鼻炎の人の割合も約4人に1人とされています。

そんなアレルギー性鼻炎に苦しむ人たちに…

新しい治療法、舌下免疫療法が保険診療で受けられるようになりました。

アレルギー性鼻炎とは

アレルギーの原因となる物質であるアレルゲン(スギ花粉症の場合はスギ花粉の成分)が体内に入ると、免疫の反応によってそのアレルゲンに対する抗体が作られます。このような状態でまたアレルゲンが鼻の中に入ると、アレルゲンと鼻の粘膜にある抗体が反応し、さまざまな化学物質が放出されます。この化学物質の刺激によりくしゃみや鼻水、鼻づまり、かゆみなどが起こります。

アレルギー性鼻炎の治療法には

薬物療法、手術療法、アレルゲン免疫療法があります。

薬物療法や手術療法は症状を軽減する対症療法ですが、免疫療法は根本的に治す根治療法です。

アレルゲン免疫療法とは

アレルゲンを少量から徐々に増やして投与することによって免疫の反応を変えて、アレルギー反応を起こしにくくする治療法です。治療を3年から5年続けることに

より、治療をやめたあとも長期にわたり症状を抑えることができます。アレルゲンを投与するため、副反応として局所や全身のアレルギー症状が起こることがあります。

アレルゲンを投与する方法には、皮下に注射する皮下免疫療法と、舌下に投与する舌下免疫療法があります。

以前から行われている皮下免疫療法は、注射で行うため痛みが伴い、アレルゲンの濃度を上げていくとき(増量期)には入院や頻回の通院が必要です。また、時に重い副反応(アナフィラキシー)が起こることがあります。

2014年から始まった舌下免疫療法は、毎日舌下に治療薬を1～2分間含んで飲み込む治療法で、痛みがなく、自宅で行うため増量期にも頻回に通院する必要はありません。また皮下免疫療法に比べると重い副反応が起こりにくいといわれています。スギ花粉症と、ダニによるアレルギー性鼻炎に対する治療薬があり、12歳以上の方が治療を受けられます。

免疫療法は薬物療法と違い、すぐには効果が現れません。治療は根気よく、少なくとも3年以上続けます。効果の強さは人によって違いますが、多くのかたが「症状が軽くなった」「薬を使う量が減った」と実感されています。

スギの舌下免疫療法は、スギ花粉症のシーズン中に始めることはできません。来年の花粉シーズンに間に合わせたい方は、遅くとも11月中には治療を始めましょう。

この治療を受けることができないかたもいらっしゃいますので、舌下免疫療法にご興味のある方は、ぜひ耳鼻咽喉科にご相談ください。(耳鼻科医師 白井 智子)

